

教育研究評議会（令和6年度第4回）議事要旨

1. 日 時 令和6年7月16日（火）13:30～14:43
2. 場 所 オンライン会議
3. 出席者（参集） 塩崎議長（学長）
（Webex） 加藤、太田、小谷、土井の各評議員（理事）
廣田、安本、別所、出村、細川、井上、河合、浦岡、船津、種池、井村の各評議員

欠席者 西村評議員（理事）

出席監事(Webex) 西村、春本の両監事

陪席者（参集） 蜂谷課長
（Webex） 元平部長
石井、久保（信）、久保（慶）、田中、筒井、東、多田の各課長

（配付資料一覧）

- 資料1 教育研究評議会（令和6年度第3回）議事要旨（案）
- 資料2-1 教員人事について（審議）
- 資料2-2 教員選考結果報告書
- 資料2-3 教員選考結果報告書
- 資料3-1 海外機関との学術交流協定の締結等について
- 資料3-2 学術交流協定更新計画書
- 資料3-3 学術交流協定更新計画書
- 資料3-4 学術交流協定更新計画書
- 資料4 スーパーグローバル大学創成支援事業の事後評価調書について
- 資料5 藤田医科大学との包括協定締結について
- 資料6 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学研究科長等特別経費の配分に関する申合せの一部改正について
- 資料7 令和6年度国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学運営体制
- 資料8-1 教員人事について（報告）
- 資料8-2 教員人事について（報告）
- 資料8-3 客員教員選考結果報告書
- 資料8-4 客員教員選考結果報告書
- 資料8-5 教員人事について（報告）
- 資料8-6 招へい教員・客員教員選考結果報告書
- 資料8-7 招へい教員・客員教員選考結果報告書
- 資料9 令和5事業年度決算
- 資料10 令和7年度予算に係る運営費交付金概算要求について【共通政策課題分（基盤的設備等整備分）】
- 資料11 令和6年度科研費（新規採択分）の交付内定状況について

4. 議 事

（前回議事要旨の確認）

資料1に基づき、令和6年度第3回の議事要旨（案）について、原案のとおり承認した。

(審議事項)

(1) 教員人事について

議長から、資料2-1~3に基づき、教員人事(助教の採用1件及び助手の採用1件)について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

(2) 海外機関との学術交流協定の締結等について

太田理事から、資料3-1~4に基づき、海外機関との学術交流協定の締結等について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

(3) スーパーグローバル大学創成支援事業の事後評価調書について

太田理事から、資料4に基づき、スーパーグローバル大学創成支援事業の事後評価調書について説明があり、審議の結果、事後評価調書を一部修正のうえ、承認した。

(主な意見は、次のとおり)

・外国人教員等の割合を80%にするという目標があったが、外国人教員が80%というのはかなり高い数値だと思われる。この基準はどのように設定されたのか。

→外国人教員等の定義には、外国人教員だけでなく外国で1年以上教育研究歴があったり外国の大学で博士号を取得したりした日本人教員も含まれており、これらを含めて80%以上とすることを目標としている。多くの教員が外国で1年以上の経験を積むことを目標として設定したものである。

(4) 藤田医科大学との包括協定締結について

太田理事から、資料5に基づき、藤田医科大学との包括協定締結について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

(5) 研究科長等特別経費の配分に関する申合せの一部改正について

小谷理事から、資料6に基づき、研究科長等特別経費の配分に関する申合せの一部改正について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

(報告事項)

(1) 令和6年度運営体制等について

元平管理部長から、資料7に基づき、令和6年度運営体制等について、報告があった。

(2) 教員人事について

議長から、資料8-1~7に基づき、教員人事(助教の退職2件、客員准教授の称号付与2件及び招へい教員の任命2件)について、報告があった。

(3) 令和5年度決算について

小谷理事から、資料9に基づき、令和5年度決算について、報告があった。

(4) 令和7年度概算要求(基盤的設備等整備分)について

小谷理事から、資料10に基づき、令和7年度概算要求(基盤的設備等整備分)について、報告があった。

(5) 令和6年度科研費(新規採択分)の交付内定状況について

井村事業推進部長から、資料11に基づき、令和6年度科研費(新規採択分)の交付内定状況について、報告があった。

(主な意見は、次のとおり)

・令和6年8月5日に開催される科研費学内説明会及び令和6年8月6日に開催される科研費基盤研究(B)セミナーについて、各教員に対して積極的に参加するよう各評議員からも勧めていただきたい。